

ショウリョウバッタのかんさつ

菊陽町立菊陽西小学校3年 北島はるか 北島みずき

1 かんさつを始めたわけ

去年は近所のアゲハチョウのかんさつをしたので、今年はショウリョウバッタ(リャくして「バッタ」という)をつかまえて、かうことにした。かっていくうちに、どんな草を食べるのか、ふんとだっ皮のかんけいが気になったので調べた。

2 かんさつのしかた

- ① かんさつ期間は、6月20日から8月9日までの51日間だった。
- ② 体のつくりやオス・メスのちがいを調べて、体長をはかった。
- ③ バッタはイネ科の草を食べると図かんを書いてあったので、イネ科のどの草を食べるかを調べるために、近所から数しゅるいを取ってきて食べさせた。また、その草のひょう本を作った。
- ④ バッタごとに毎日ふんの数を数えた。ふんはふくろにぼかんして、後から台紙にはった。
- ⑤ はじめはバッタ9ひきを1つの箱でかっていたが、その内2ひきを6月30日に取り出して、べつべつの箱に入れた(茶色と緑色)。また、7月10日には、だっ皮したばかりのバッタを取り出して、べつの箱に入れた(緑色2)。
- ⑥ バッタは4回から8回だっ皮すると図かんを書いてあったので、だっ皮の回数、だっ皮のかんかく、だっ皮の始まりから終わりまでの様子をかんさつした。
- ⑦ かんさつノートは二人それぞれに書いて、おたがいにおぎない合ってまとめた。

3 かんさつのけっか

- ① バッタの体のつくり(図1)
- ② バッタのオス・メス(図2)
- ③ バッタはどのイネ科の草を食べるか
近所でイネ科の草をさがして、チガヤ、エノコログサ、メヒシバ、アメリカスズメノヒエのじゅん番で食べさせたら、4しゅるいを全て食べた。

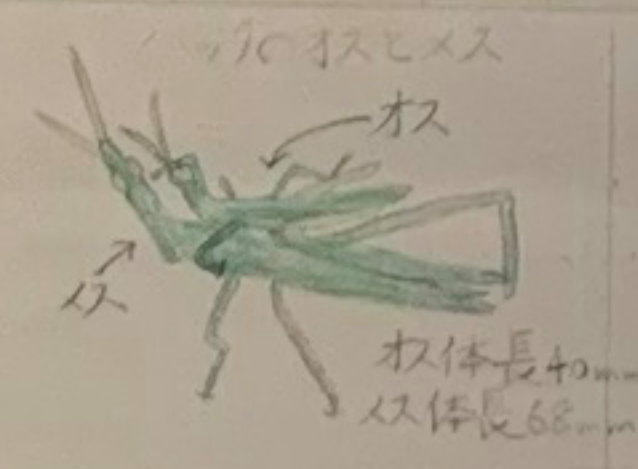
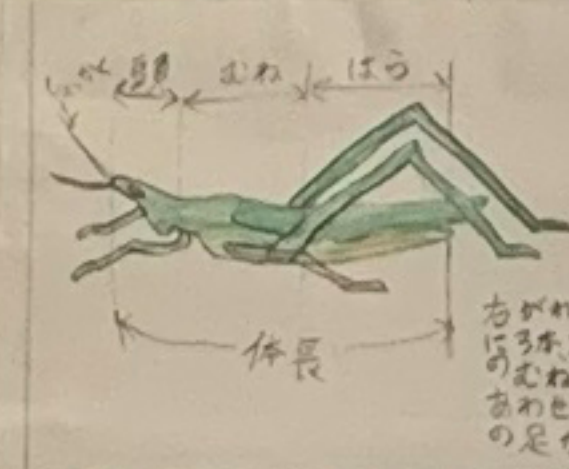
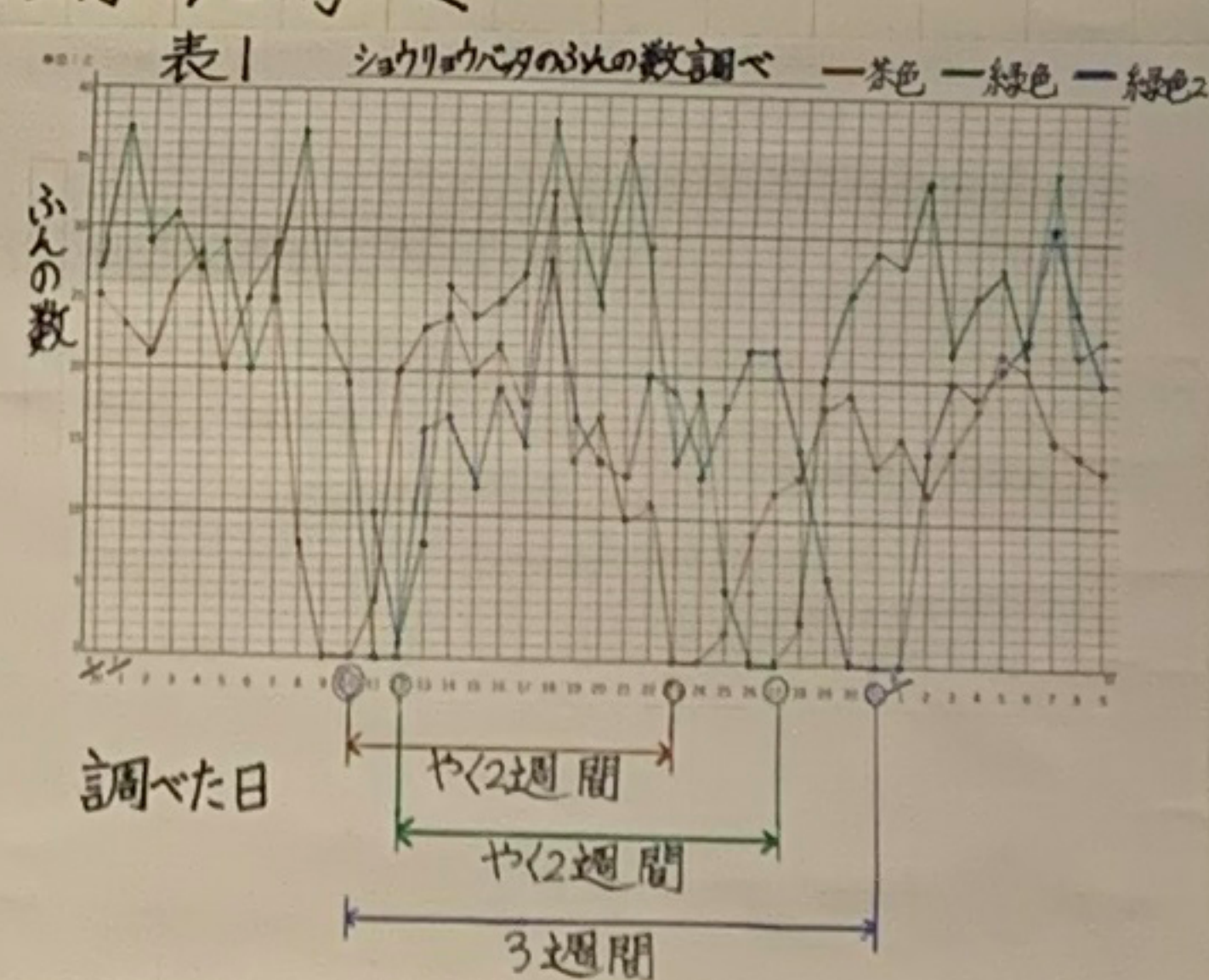


図1 バッタの体のつくり

図2 バッタのオス・メス

- ④ ふんの数とだっ皮のかんけい、だっ皮のかんかく

ア) ふんの数が少なくなっていき、とうとう0こになった。どうしてかなと思っていたら、すぐにだっ皮が始まった。草を食べずに、だっ皮のじゅんびをしていたのだと思った。
イ) だっ皮からだっ皮までのかんかくは、茶色と緑色は、やく2週間、緑色2は3週間だった。(表1)



- ⑤ 体が大きくなるとふんはどうなるか

7月5日の緑色の体長は43mm、ふんの長さ7mm、太さ1mm。8月1日の体長は60mm、ふんの長さ10mm、太さ3mm。体が大きくなると、ふんも大きくなった。

- ⑥ だっ皮ごとに体長は何mmのびるか (図3表2)

だっ皮時ののびは茶色8mm、7mm。緑色7mm、15mm。緑色2は5mm。だっ皮で5mmから15mmのびていた。

- ⑦ だっ皮の様子 (表3)

まとめがいの箱でバッタが8月8日にだっ皮した。板に足でつかまり、頭の後ろのせ中からさけた。体全体の皮が白くすけていて、おしりからぬけ始めて後ろ足がぬけた。羽がのびて、しょう角がのびた。30分ほどで全て体が皮からぬけた。

4 まとめ

- ① バッタの食べた草は、イネ科の中でも、チガヤ、エノコログサ、メヒシバ、アメリカスズメノヒエだった。
- ② だっ皮の前はふんが0こになった。草を食べずに、だっ皮のじゅんびをしていると分かった。図かんでは「だっ皮が近づくと、きゅうにえさを食べなくなる」とあったが、ふんとかんけいは書いていなかった。しかし、今回ふんとかんけいが分かった。また、ふんの長さや大きさは体長にあわせて大きくなると分かった。
- ③ 茶色と緑色は2回だっ皮して、かんかくは2週間だったが、羽が長くのびたので、さい後のだっ皮(羽化)だと思った。
- ④ 今回、だっ皮の様子をさいしょからさい後まで見る事ができ、とても感動した。

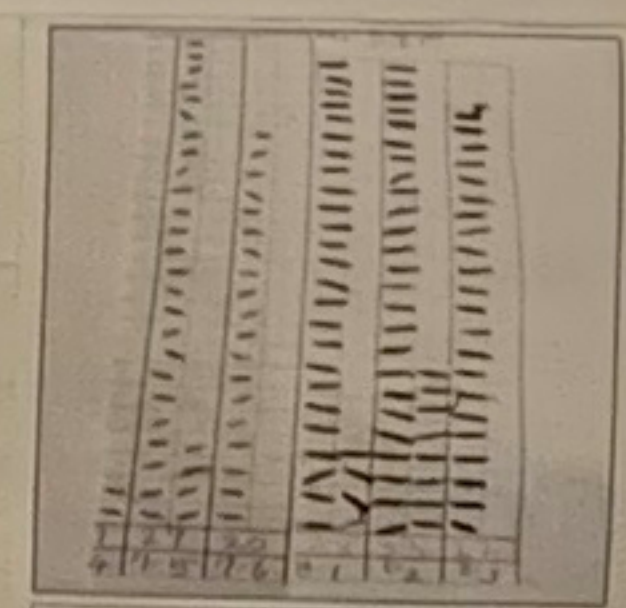


図3 ふんが大きくなった写真

表2 体が大きくなるとふんも大きくなる

	7月5日	8月1日	さ
体長	43mm	60mm	17mm
ふんの長さ	7mm	10mm	3mm
ふんの太さ	1mm	3mm	2mm

表3 だっ皮する何ののびるか

	茶色	7日	10日	23日
体長	45mm	53mm	60mm	
のび		8mm	7mm	

	緑色	7日	12日	27日
体長	43mm	50mm	65mm	
のび		7mm	15mm	

	緑色2	10日	31日
体長	55mm	60mm	
のび		5mm	